

第4次磐田市地域福祉計画・地域福祉活動計画 パブリックコメント回答(案)

No.	項目	意見内容	市・市社会福祉協議会の考え方
1	4 ページ 第1章 計画の位置づけ	我が子は発達障害がある。学校内にも今はいろんな発達障害やグレーゾーンと呼ばれる子どもたちがたくさんいる。通級や支援級もありますが なかなかすぐに支援への導きができていない。発達障害専門の学習面の支援の環境を作ってほしい。	発達障害の子どもたちへの学習上の困難を改善又は克服するため、研修等により教職員の理解推進や指導力の向上を図るとともに、支援を要する児童生徒の補助にあたる教育支援員も配置しています。また、通級指導教室については、来年度は箇所数を増やし、教育支援体制を充実させていく予定です。
2	6 ページ 第1章 地域福祉活動を推進するための「地域」の考え方	地域の範囲を「近隣、自治会の組・班」からはじまり、「各自治会での身近な地域福祉活動の実施」とあるが、自治会は素人の団体であり、目に見えない束縛があることを理解してほしい。自治会に委ねるのではなく、磐田市が主導権を持って福祉を充実させてほしい。	地域福祉活動を推進するための地域（圏域）の考え方として、「近隣・自治会の組・班」からはじまり、市全域を地域（圏域）とする考え方を示しているものです。福祉の充実を図るためには、市の取組みだけでなく、地域における見守り活動などの取組みも必要となります。本市の福祉の充実のため、ご協力をお願いします。
3	25 ページ 第3章 計画の基本的な考え方	自閉症等の発達障害をもっていると人とのコミュニケーションが難しい。支援者とお互いの気持ちが伝わらなかつたり、誤解を招くこともある。理解してもらうには長い時間をかけて継続的な関わりをもってもらうことが大切。細く長く続けられるスポーツ、小さなボランティアなどがあれば様々な人と関わるきっかけになるかも。それが将来本当に困って福祉サービスを利用する時に、大切な下地になると思う。	発達障害に限らず、地域の様々な課題を解決するには、市民一人ひとりが共通の課題として受け止め、地域ぐるみで解決していく必要があります。人や地域のネットワークで互いに補い合いながら、「やさしさ、ふれあい、支えあいのまちづくり」を進めていきます。ご意見ありがとうございました。
4	38 ページ 第4章 基本目標2	地域の課題を住む人が困り事を情報共有し、小さなことから解決していくことが大切と思います。「声かけ」と「見守り」で SOS を未然に防ぐことが可能で	いただいたご意見のとおり、「声掛け」や「見守り」などで、「基本目標2 ふれあい、支え合い、助け合いの地域づくり」を進めていきます。ご意見ありがと

第4次磐田市地域福祉計画・地域福祉活動計画 パブリックコメント回答(案)

	<p>施策の方針2 地域での見守り体制づくり</p>	<p>す。 また、いろいろな情報が集まるような体制づくりと各班長との連携により情報共有し、遠くの親戚より近くの他人の方が頼りになるような関係づくり、「今が一番楽しい」と思えるような地域になってほしい。</p>	<p>うございました。</p>
5	<p>50～51 ページ 第4章 基本目標3 施策の方針2 自立を支える福祉サービスの充実 (成年後見制度利用促進基本計画)</p>	<p>障がいをもつ子どもの親亡き後の生活が心配。成年後見支援センターの充実、整備に期待。チーム支援、地域連携ネットワークが実現すれば本当に心強い。知的障害者の場合、50代ぐらいから後見人が必要なケースもでてくる。毎月の高額な費用を何十年も払い続けることができるか不安。</p>	<p>成年後見支援センターの利用促進や、相談支援体制の強化、障害福祉サービスなどの充実を図りながら、障がいのある方々やその家族の不安解消に努めていきます。</p>
6	<p>52 ページ 第4章 基本目標3 施策の方針3 安心して住みやすい生活環境の整備</p>	<p>【育児サポートや家事代行の充実化】 提案) ①サポート側の給与の増額(サポート技術に影響する為) ②誰がどんなサポートが出来るのかを明確に記載 ③SNS の活用 ④アフタースクールの拡大(宿題や遊び、習い事の送迎)→鍵っ子の軽減目的も含む。保育園程度の手厚さ必要 ⑤子ども食堂の拡大 【近隣住人とのコミュニケーション不足】 【地域の役員が困難な理由・原因】 提案)</p>	<p>育児サポーターや家事代行の充実化に関しては、育児支援者がいない妊産婦のお宅に育児サポーターが訪問して、沐浴の介助や赤ちゃんのお世話などをする「育児サポーター派遣事業」や、SNS を活用した子育て情報配信、予防接種の管理機能などを備えた「いわた子育てアプリ」なども実施しています。 また、こどもの居場所づくりを進めるために、こども食堂運営者に対する情報提供や、運営者を集めた情報交換会なども実施しています。 交流センター等の老若男女が利用しやすい環境づくりについては、市内の交流センターにおいて、若者向けの講座の開催、子育てサロンの実施、まちの保健室の実施、SNS を活用した情報発信などにより、多</p>

第4次磐田市地域福祉計画・地域福祉活動計画 パブリックコメント回答(案)

		<p>①いろいろな意見があって当然。自由な意見交換の場が必要</p> <p>②公民館が高齢者しか利用しないような建物では無く、町内老若男女全員が利用しやすいような建物に変えていく。</p>	<p>くの世代の方が利用しやすい取り組みを進めています。</p>
7	<p>52 ページ</p> <p>第4章</p> <p>基本目標3</p> <p>施策の方針3</p> <p>安心して住みやすい生活環境の整備</p>	<p>安心して子育てがしやすい町にするために、子育て及び教育に不安がない町にするという目標をたててほしい。今は他人との関係性が希薄になっており、助けを求めたり、相談が気軽にできないように感じる。地域で子を見守り、声かけがしやすいコミュニティづくり必要である。具体的には挨拶の必要性を大きく教育していくことが必要である。</p> <p>また、障がいまではいかなくても、通常の発育と障がいのボーダーにいる子への補助が手薄に感じる。昨今発達障害のある子が増えている。そういった子への対応がこれからはもっと必要になると思われる。支援員の先生の拡大は急務であり、子供の教育に力をいれる必要があると考えている。</p>	<p>安心して住みやすい生活環境という目標には、子育てサービスを充実し、子育てに不安がないまちにするという目標も含んでいます。また、P28の基本目標1では福祉教育を推進、P38では地域での見守り体制づくりを推進することとしています。</p> <p>また、発達障害のこどもたちへの学習上の困難を改善又は克服するため、研修等により教職員の理解推進や指導力の向上を図るとともに、支援を要する児童生徒の補助にあたる教育支援員も配置しており、教育支援員は徐々に増員しています。</p>
8	<p>全体</p>	<p>浜松こども館のような室内の巨大有料遊び場が欲しい。今之浦公園の整備には感謝しているが、市内に大きな公園が1箇所しかないため土日は非常に混雑している。また、雨の日や猛暑日、極寒の日は使用できない。検討をお願いします。</p>	<p>室内の遊び場ではありませんが、来年度に豊岡児童遊園の施設整備や、竜洋昆虫自然観察公園の遊具の更新を行いますので、ご利用いただきたいと思います。</p> <p>いたいたご意見は今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>